

## クリニカルラダーシステム

クリニカルラダーとは、看護師の臨床実践能力を段階毎に示したもので、個人の実践状況をレベル毎の到達目標と照らし合わせることにより、現在の能力が確認でき、次に目指す目標を見出す事ができるものである  
県立病院看護科の臨床看護実践能力指標の基本構造は、臨床能力項目を「看護の核となる実践能力」「管理（役割・責務）」「人間関係」「教育・研究」の4項目とし、臨床能力段階をレベルⅠからⅤまでの5段階とする



マネジメントリーダー：

主任看護師・看護師長補佐  
看護師長・副総看護師長

特  
定  
行  
為

認  
定  
看  
護  
師

専  
門  
看  
護  
師

レベルⅤ：(卒後 12 年以上)

医療チームにおいて、看護の立場でリーダーシップを発揮

レベルⅣ：(卒後 7～15 年)

部署において看護の立場でリーダーシップを発揮する

レベルⅢ：(卒後 4～10 年)

受け持ち看護師として自立し役割モデルを目指す

レベルⅡ：(卒後 2～5 年)

担当看護師として自立し、受け持ち看護師を目指す

レベルⅠ：(新人～卒後 2 年)

担当看護師としての能力を身につける

## 求める人材像

- 1 患者・家族を尊重し、倫理に基づいた質の高い看護を提供できる人材
- 2 自立的に根拠に基づいた看護実践能力を高めることが出来る人材
- 3 チーム医療を推進するため、医療チームの一員として組織で行動できる人材
- 4 自ら学ぶ姿勢と他者の学びを導き支えることが出来る人材
- 5 組織に貢献できる人材
- 6 社会のニーズに柔軟に対応できる人材
- 7 理論と実践を統合し、看護学の発展に寄与できる人材